



# 令和3年 **4**月住まいのお手入れ

## 目次

(1)  水筒の手入れ しっかり乾燥 立てて収納

(2)  住まいに一工夫 きれいキープ

 **住まいのお手入れ** - **内壁** 症状 - 部屋の入隅でクロスが切れた

(1)  **水筒の手入れ** **しっかり乾燥** **立てて収納**

\*水筒の中はスポンジなどに中性洗剤をつけて洗うのが基本。

\*一般的な食器用スポンジでは底まで届かず、きちんと洗えているか不安。

\*凹凸のある飲み口や、パッキンの溝にも届きやすい「あみたわし」を使うと、汚れが落としやすくなります。

\*あみたわし：メッシュ状に織られた食器洗い用のクロス。

柄付きのスポンジなどと比べ乾きやすく、衛生面でもおすすめ。

\*カビが発生しやすいゴムパッキンは外し、水筒の内部同様に中性洗剤で洗います。

\*月1度程度の「つけ置き洗い」。

洗い桶に50度前後の湯を張り、酸素系漂白剤を溶かしてパッキンや水筒のふたをつけます。

\*洗った後はしっかり乾かしましょう。

専用スペースに斜めに立てかけておくのが一番効率的。

\*水筒の中に入れていいのはお茶や紅茶、水、コーヒー。

乳製品は腐敗しやすく、ガスが発生して噴き出すことがあります。

スープやみそ汁といった塩分の多い汁ものも、水筒の機能が低下する恐れが。

スポーツドリンクのような酸性の飲み物を長時間入れておくと、まれに飲み物の中に金属が溶け出す恐れがあります。

\*上部を回して開けるスクリュー式は、温かい飲み物を少しずつ調理しながら飲めるほか、飲み口が広いため、香りも楽しめます。

\*ボタンを押すだけで開けられるワンタッチ式は、冷たい飲み物をごくごく飲みたいスポーツ時などに向きます。

パッキンなどの部品が多く、洗いにくいのが難点。

(2021年3月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (2) 住まいに一工夫 きれいキープ

### 汚れを「ガード」掃除ラクラク

\*換気扇は油や埃でベタベタになりがち。

防止策として一番手軽なのは、ペーパー状のフィルターを取り付ける方法。  
レンジフードや換気扇に汚れが付きにくくなります。

つけっぱなしはNG。

油などでフィルターが目詰まりした状態を放置すると、換気扇の吸い込み力が落ち、油分を含んだ空気がキッチンや隣接する居間、リビングにも広がります。

交換はまめに。

\*スプレー式のコーティング剤も便利。

掃除をした後にコーティングしておけば、付着した汚れが落ちやすくなり、次回からはお湯で流すだけでかなりきれいになります。

\*シンクは長年使っていると、水をはじく力が弱まり、水切れが悪くなります。

たまった水に含まれる微細なごみがシンクの表面に残ります。

そのごみを足掛かりに次のごみがたまります。その繰り返しで水垢がたまります。

水滴が玉状に残らず、大きなアメーバ状に残るようだと要注意。

\*タイル張りのキッチンは、目地に汚れがたまりがち。

食品用のラップフィルムをタイルに張り、定期的に張り替え。

層になっている壁専用の透明シートが販売されています。

\*洗面台と壁の境目やグリルとシンクトップの接点など、面と面の継ぎ目も汚れがたまります。

マスキングテープがお勧め。

壁などに合わせた色のテープを継ぎ目に張り、汚れたら張り直します。

\*家具は壁面につけることが多いですが、壁との間にできるわずかなすきまにほこりがたまります。

あえて壁と家具の間に手や掃除道具が入る隙間を作り、ほこりをとりやすくするという考え方も。

\*洗濯機の下は、髪の毛や衣類から出る繊維埃に湿気や洗剤の飛沫が絡み、かなりの汚れに。

洗濯機用のかさ上げ台を使って底上げ。洗濯機の下は、落とされたものが入り込みがちですが、取り出しやすいのもメリット。

(2021年3月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 住まいのお手入れ - 内壁

### 症状 - 部屋の入隅でクロスが切れた

☆考えられる原因

\*新築後1~2年の間によくあらわれる現象。

荷重や建物自体、地震などの外圧が加わることによって、建物全体が落ち着くまでに様々な症状があらわれます。

\*築年数が経過してから症状が出たり、建物全体に同じような症状が出る場合には、構造的な問題があることも。

☆対処方法

●部屋の一部に出ている場合

\*見栄えだけの問題なので、ある程度は自分で補修することも可能。

補修したうえで、経年変化を見ることも必要。

①ねじれた部分にカッターを入れて、左右のつながりを切ります。

②クロスの補修材で隙間を埋めれば完成。

③新築して1年以内の場合は、施工業者に依頼して直してもらうのもよいでしょう。

●すべての部屋に同じように出ている場合

\*全部屋に同じようなねじれが出ていたり、上下階の同じ位置に出ていたり、近くのドアやサッシにも不具合が出ている場合は、構造的に何らかの問題を抱えていることが考えられます。施工業者に見てもらうことが必要です。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)